

教育目標及び教育方針

1 教育目標 「ふるさとを愛し 心豊かにたくましく生きる子の育成」

2 めざす児童像 ◇進んで学び合う子 ◇礼儀正しく思いやりのある子 ◇体と心をきたえる子

3 めざす学校像 一人一人が挑戦し、やり遂げることで笑顔や感動があふれる学校

4 教育理念

“挑戦 感動 笑顔”

5 今年度の学校経営の基本方針の重点とその具体化

(1) 学力の向上 (進んで学び合う子)

【日々の授業づくり】

- ① 児童が「やってみたい」と興味・感心を示す授業の導入や課題提示を行い、身につけた知識を活用して、学びへと向かう力を高める。
- ② 教師の関わりや発問により、一人一人が考えを深めていくことのできる授業を追究し、児童の思考力・判断力・表現力を高める。
- ③ 授業に一人一台の端末の効果的な活用場面を取り入れ、学びの質を高め、資質・能力を伸ばす。
- ④ 「感動」ある「主体的・対話的な深い学びのある授業」の実現に向けて、教師一人一人が授業力を向上させる校内研修の充実を図る。

【授業を支える学習基盤の充実】

- ① 「聞く・話す」能力を育成する。(授業のみならず、集会、校外学習など諸活動において)
- ② 「読む・書く」活動の充実を図り、語彙力を育成する。(読書活動、短作文、日記など)
- ③ 学習環境を整備する。(既習事項や学習の足あと掲示、共通実践の学習ルールなど)

(2) 豊かな心の育成 (礼儀正しく思いやりのある子)

【人間力の育成】(時を守り、場を清め、礼を正す)

- ① あいさつ・返事(反応)のできる子の育成に向けて、日々の指導を行う。…礼
- ② 時間を守ることができる子を育成するために、常に余裕をもって行動する。
(5分前行動)…時
- ③ 学習環境を整え、気持ちよく学習に向かえるようにする。
(清掃指導、身の回りの整理整頓)…場

【よりよい人間関係と自己有用感の構築】

- ① いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応に向けて、日常的な「廊下の生徒指導」を徹底する。
- ② 道徳授業の充実を図る。（「命の尊さ」「友達のよさ」「思いやり」など、GTの活用）
- ③ 体験活動やボランティア活動を推進する。
- ④ 一人一人に活躍の場を設け、自己有用感をもたせる。

(3) 健やかな体と心の育成（体と心をきたえる子）

【基本的な生活習慣の育成】（養護教諭を中心として、担任や保護者と連携する）

- ① 早寝・早起き・食習慣の大切さを理解し、よりよい行動がとれるようにする。
- ② 歯磨きや体の清潔に心がけ、病気を予防するための知識や行動を身につける。
- ③ 姿勢よく過ごすことは、体のみならず心にも影響し、学習効果につながることを指導する。
- ④ 睡眠時間やメディア視聴時間の指導の充実を図る。

【たくましい体づくり】

- ① 「体力アップ1校1プラン」の実施と「スポチャレいしかわ」の積極的参加を目指す。
- ② 体育的行事（運動会、水泳記録会、マラソン大会、縄跳び集会、スキー学習）を活用し、体力向上を図る。

【安全指導の充実】

- ① 各種避難訓練や交通安全教室、防犯教室などを行い、安全を守るための行動を身につける。
- ② 年間計画に基づく安全教育・防災教育を実施する。

(4) 家庭・地域との連携

- ① キャリア教育や総合的な学習の時間を中心に、地域人材との協働活動や地域資源の有効活用をする。
- ② 学校公開、授業参観を定期的に行うとともに、日々の教育活動を発信し、情報共有を図る。

(5) 組織的な学校づくりと働き方改革→キーワード「報告・連絡・相談」「すぐやる!」「2時間勝負」

- ① 全児童を全職員で育てる体制づくり（廊下の生徒指導、報告・連絡・相談の徹底）
- ② 日常的な研修（OJT）を推進し、研修を積み上げる。
- ③ 常に「最悪を想定して行動」できる危機管理意識を高める。
- ④ 服務規律の徹底を図るための定期的な研修やセルフチェックを行う。
- ⑤ 教育の本質を見極めた業務改善を推進し、全職員で時間外勤務の削減を実行する。

6 目指す教師像

◇人間力の向上に努める教師：「時を守り 場を清め 礼を正す」

◇指導力の向上に努める教師：児童に対する愛情とプロ意識

◇組織的な学校づくりに努める教師：自己の役割を果たし、協働で（学校職員・保護者・地域）職務に励む